

文化のまちづくりビジョンワーキングについて

平成 25 年からのビジョンワーキング概要(第1回～6回)

●第1回ワーキング(平成 25 年2月 19 日開催)

現状の把握:私たちはどんな文化事業をしているのか?

- 市民の感性が高まる仕組みづくり…南郷アート、美術館企画展・特別展、舞台公演、ダン活等
- 人と人を結ぶ拠点づくり…山本さんちプロジェクト、まちなかりノベ、会所場づくり、こどもフェスタ等
- 市民が参加しやすい仕組みづくり…補助金、練習場整備、和日カフェ、講座・WS、貸館、アマチュア向け公演等
- 複合的な事業…コーディネーター等配置、緊急雇用配置、工場アート、施設連携事業、AIR、情報発信等
- その他…はっち市、ものスタ、南部氏庭園、フィールドミュージアム等
- こんな事業をしたら…ブランディング、アートのまちづくりロゴ作成、市内アート情報の提供

●第2回ワーキング(平成 25 年7月4日開催)

課題を見つける:今、どんな課題がある?

- 連携…芸術文化連携協議会の活用、市内外の施設の連携、連携のシステム化、テーマの設定、文化施策の体系化
- 施設の役割のすみわけ…施設の特徴、重複する部分は連携を
- 効果の測定・評価…事業効果測定、アンケートの分析、具体的なエピソード・成功例の積上げ、グループインタビュー
- 情報発信…情報の埋没、一体的な情報発信、広報のノウハウの共有、市外へのPR、広報専門職
- 他都市・民間との関わり…他都市との差別化、シティアピール、交流プログラム、民間とのすみわけ
- 地元のアーティスト・アート好きの発掘…アート愛好家の横のつながり、アーティストの価値基準
- 人材育成…専門員らの配置、少子高齢化、NPO・市民団体、繋ぎ手の育成、プロデューサーの存在
- 事業内容…マンネリ化、文化活動支援に社会性を、事業のスクラップ&ビルド、多様なアートを、先駆的なアートも

●第3回ワーキング(熊倉先生)(平成 25 年8月 26 日開催)

今後の進め方は?

- 文化振興は何のためにあるのかを考える
…ミッション策定における因数分解(xということを行うことによって、yを実現し、zを目指します)
- 課題の洗い出しではなく、今取り組んでいることの仕分けと現場での定義づけ
- まずは共通の目標を具体的に書いてみる。例えば 3 本のミッション

●第4回ワーキング(X, Y, Zの検討)(平成 25 年9月 24 日開催)

検討課題1:どんなまちにしたい?

- 感度の高い人・まちに関心がある人がたくさんいるまち
- 八戸が好きな人がたくさんいるまち
- まちの出来事に関われるまち
- 新しいものに寛容なまち
- 文化に関心が高い人が多いまち…文化にお金を使う、企業が貢献、市民の寄付
- 外の人が八戸っていいなと思うまち
- ライフスタイルが豊かなまち…シビックプライド

検討課題2: まちに活気があるとはどういうこと?

- 人の動きがある
- お金の動きがある
- モノが動いている
- 情報が入ってくる
- まちに関心がある人が多い

検討課題3: どうしたら「活気」がでるか?

- シビックプライドを醸成する
- 新しいモノ・人を受け入れる
- まちなかを関心空間に作り変えて郊外との差別化をはかる
- 個性的なまちづくりをする…ここにしかないもの、八戸ならではのものがあると人が外からやってくる、自慢できる
- アートを産業化する…働く場所があって若者が定住する
- まちに主体的に関われる人を増やす…まちの出来事に「関わり」を持つとまちに関心を持つ
- 文化に関心がある人を増やす…外からも人が来て、結果、経済活動も活発になる
- アートを使ったまちづくり…文化芸術振興のための文化推進ではなく、まちを元気にするためのアートの活用

●第5回ワーキング(平成 25 年 10 月7日開催)

これまでのワーキングの振り返り

- これまで検討した内容をもとにたたき台をつくる

●第6回ワーキング(平成 26 年4月 15 日開催)

ビジョン策定にあたり広い視野から検討するため、博物館や社会教育課の職員にも参加してもらう

- 文化、芸術、アート等の言葉の定義について
- ビジョンについて市民がどう受け取るか。どのような期待をされるのか